

提出年月日：2月14日
担当：伊藤貴之 先生

コンピュータグラフィックス 情報可視化 Hidden によるデータ分析課題

目次

1. はじめに	2
2. データ内容	2
2.1 調べた項目	2
2.2 作成した CVS ファイル	3
3. データ引用元	3
4. 結果	4
4.1 全体	4
4.2 年代別	4
5. 分析と考察	5
5.1 右上のスライダーを変化させて得られた知見	5
5.2 Culling スライダーを動かして得られた知見	9
6. 感想	10

情報科学科 3年

1 はじめに

私はドラマを見るのが好きで、これまで数多くの作品を視聴してきた。一般的に、ドラマの人気度を図る代表的な指標として視聴率が挙げられるが、高視聴率を取る作品に共通する条件について私は興味をもった。そこで今回は、高視聴率を記録した民放ドラマ作品の特徴について可視化およびデータ分析を行う。

2 データ内容

2002年～2022年の21年間について、各年で最高視聴率が上位5位以内であった作品、計105作品について調査した。これらを、高視聴率を記録した作品と定義し分析する。

2.1 調べた項目

年	作品が放送された年
四季	作品の放送が開始された季節 0：冬(1月スタート) 1：春(4月スタート) 2：夏(7月スタート) 3：秋(10月スタート)
曜日	作品が放送された曜日 0：月曜 1：火曜 2：水曜 3：木曜 4：金曜 5：土曜 6：日曜
ジャンル	作品のジャンル 0：医療 1：刑事・警察 2：法律 3：金融 4：学園・青春 5：恋愛・ラブコメ 6：ミステリ・推理・サスペンス 7：ホームドラマ 8：その他仕事 9：その他

テレビ局	作品を制作したテレビ局 0：日本テレビ 1：フジテレビ 2：TBS テレビ 3：テレビ朝日 4：関西テレビ
平均視聴率	全放送回の視聴率の平均値
最低視聴率	全放送回の視聴率の最低値
最高視聴率	全放送回の視聴率の最高値
最低視聴率話	最低視聴率を記録した放送回 (全 11 回の作品において、最低視聴率を第 3 回目で記録した場合、最低視聴率話は 3 となる)
最高視聴率話	最高視聴率を記録した放送回
原作の有無	0：原作なし 1：原作あり(小説) 2：原作あり(漫画) 3：原作あり(その他、海外ドラマのリメイクなど)
シリーズ累計数	映画やスペシャル、第○シリーズといった続編を含めたシリーズ全体の回数(続編がなければ 1 となる)

2.2 作成した CVS ファイル

上記 12 項目に加え、Category として年代を設定した。(後述)

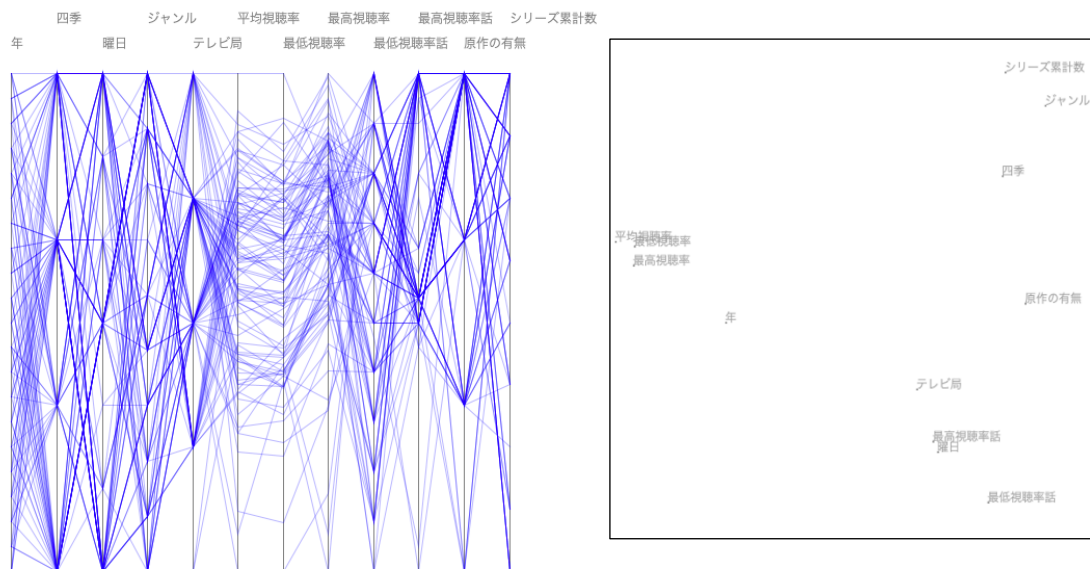
Numeric	Numeric	Numeric	Numeric	Numeric	Numeric	Numeric	Numeric	Numeric	Numeric	Numeric	Numeric	Category
年	四季	曜日	ジャンル	テレビ局	平均視聴率	最低視聴率	最高視聴率	最低視聴率話	最高視聴率話	原作の有無	シリーズ累計数	年代
2002	1	0	1	1	22.6	18.9	27	10	11	0	1	0
2002	0	0	7	1	21.4	19.6	23.6	10	1	0	1	0
2002	1	2	4	0	17.4	13.6	23.5	11	12	2	5	0
2002	2	2	8	1	16.4	11.6	23.1	11	1	2	7	0
2002	2	0	5	1	19.1	17	21.9	6	1	0	1	0
2003	0	6	8	2	30.6	27.5	37.6	2	10	0	1	0
2003	3	3	0	1	23.9	19.2	32.1	5	21	1	2	0
2003	2	3	0	1	19	15.6	22.3	7	11	0	4	0
2003	0	1	9	4	15.5	12	21.6	4	11	0	1	0
2003	0	3	5	1	18.5	17	20	7	1	0	1	0
2004	0	0	5	1	25.5	22.6	28.8	7	11	0	1	0
2004	0	1	9	4	20.8	18	27.1	3	12	0	1	0
2004	0	6	6	2	19.6	15.8	26.3	9	1	1	1	0
2004	3	0	5	1	21.6	19	25.3	7	5	0	1	0
2004	1	6	4	2	17.4	14.2	23	4	11	0	1	0

3 データ引用元

- ・ 年別最高視聴率ランキング <https://nendai-ryuukou.com/drama.html>
- ・ テレビドラマ一覧 [https://ja.wikipedia.org/wiki/日本のテレビドラマ一覧_\(年代別\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/日本のテレビドラマ一覧_(年代別))

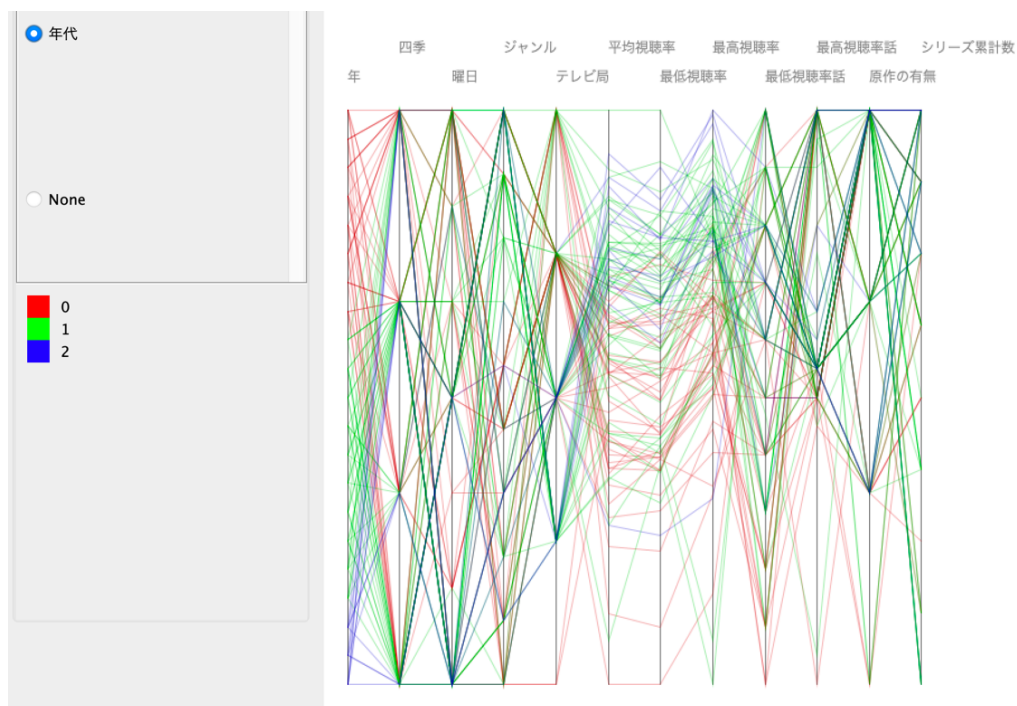
4 結果

4.1 全体



4.2 年代別

単色では分析しづらいため、項目の年とは別に Category として年代を設定した。



(年代： 0 = 2000 年代、1 = 2010 年代、2 = 2020 年代)

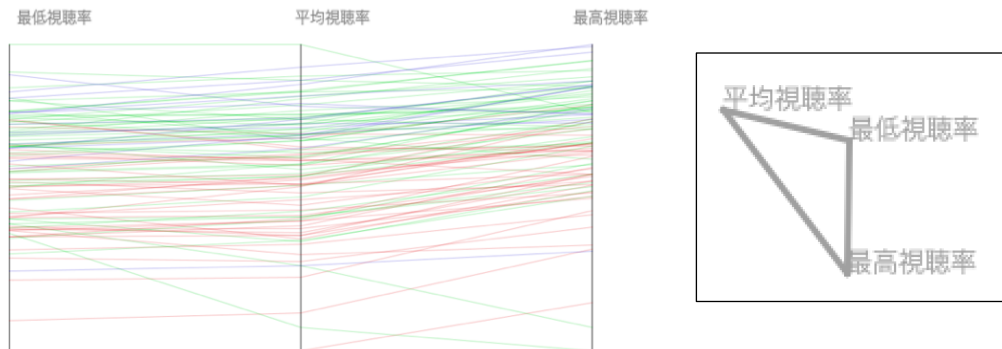
以下、これを用いて分析と考察を行う。

※ 今回は AWT 版のプログラムを実行したため、PCP の上に行くほど数字が小さく、下に行くほど数字が大きくなる様にプロットされていることを明記する。

5 分析と考察

5.1 右上のスライダーを変化させて得られた知見

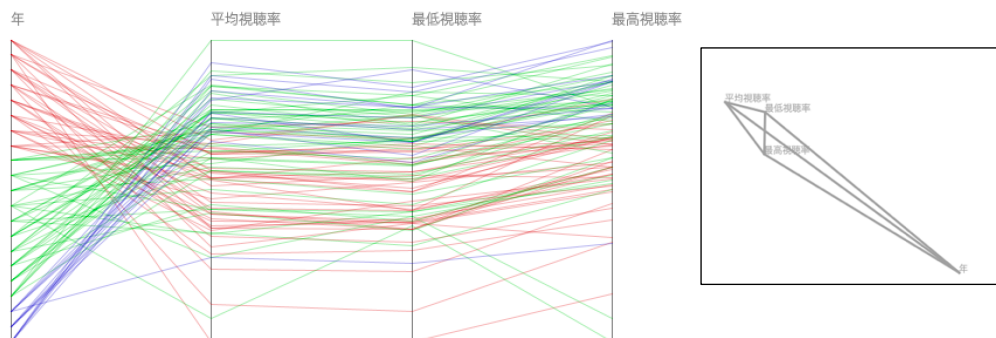
① 3種類の視聴率の関係



最低視聴率と平均視聴率には強い正の相関があり、また、平均視聴率と最高視聴率にも正の相関があることがわかる。

よって、平均視聴率が高いほど、最低視聴率と最高視聴率も高い傾向にあると言える。この3種類の視聴率の相関が強いことは、右側の散布図からも確認することができる。

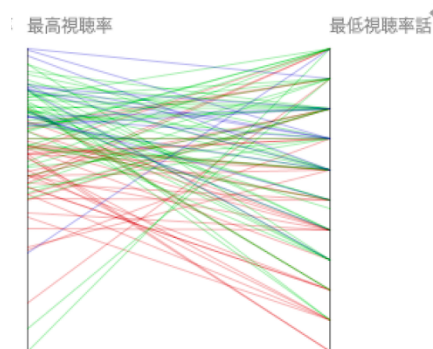
② 年代と視聴率の関係



高視聴率作品においても平均視聴率、最低視聴率、最高視聴率ともに 2000 年代の方が高い視聴率を記録し、2020 年代になるほど視聴率が低下している。世間で謳われている視聴率の低下を可視化することができた。

2020 年代の作品で一つ例外が見られたため、気になって作品名を元データから調べたところ、2020 年放送の「半沢直樹 2」であることが判明した。

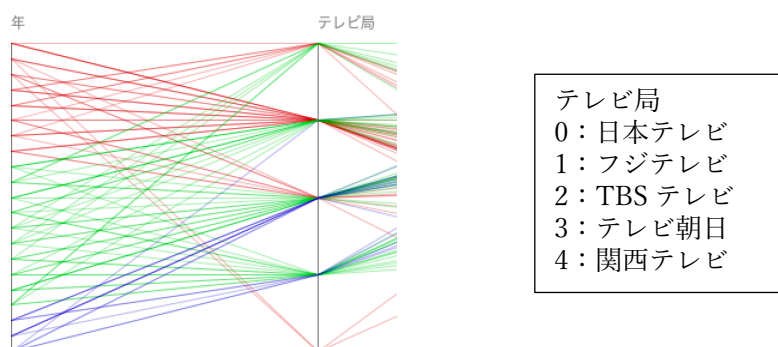
③ 最高視聴率と最低視聴率話の関係



最高視聴率と最低視聴率話には負の相関があるように見受けられる。

これより、最高視聴率が低い作品は放送回数を重ねるごとに視聴率が下がるため、最低視聴率を後半(例えば全 11 回放送の 9,10,11 回など)で記録し、最高視聴率が高い作品は放送回数を重ねるごとに視聴率が上がるため、放送回の序盤で最低視聴率を記録する傾向が高くなると考えられる。

④ 年代とテレビ局の関係



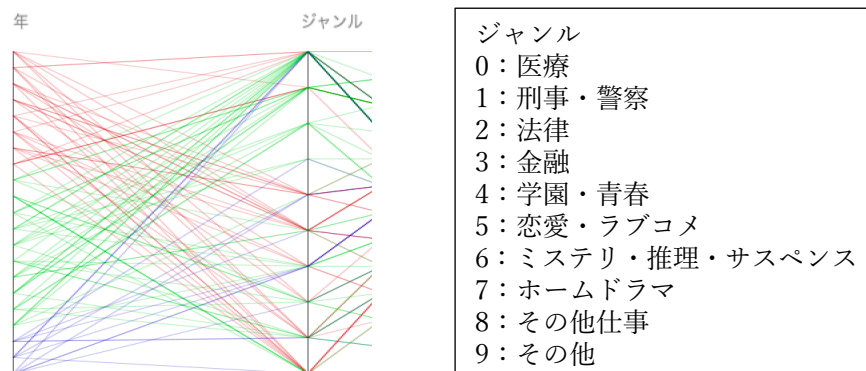
各テレビ局についてデータを読み取ると

- ・日本テレビは 2020 年に入ってから、高視聴率の作品を制作できていないこと
- ・フジテレビも 2020 年代はあまり高視聴率を取れていないが、2000 年代、2010 年代は高視聴率を記録した作品が多いこと
- ・TBS テレビはどの年代においても高視聴率を記録しており、特に 2010 年以降はコンスタントに良い結果を残していること
- ・テレビ朝日は 2010 年以降視聴率上位を取るようになったこと

がわかる。

特にテレ朝は、ここ最近、定期的に高視聴率を記録した作品をシリーズ化する傾向にあるようなので、このような結果が出たのだと考えられる。

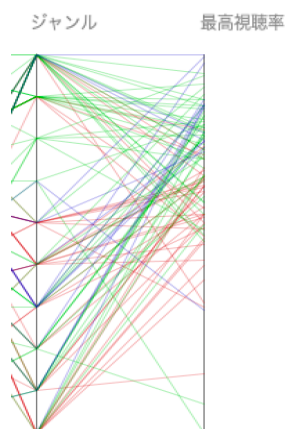
⑤ 年代とジャンルの関係



データを読み取ると

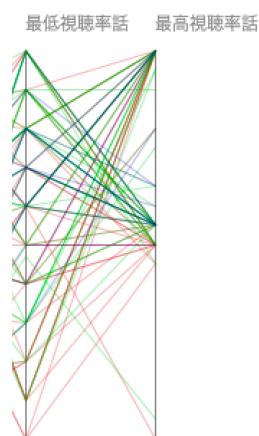
- ・学園・青春や恋愛・ラブコメといったジャンルは特に 2000 年代において人気だったこと
- ・刑事・警察は 2000 年代よりも 2010 年代で人気作品が多いこと
- ・医療は、どの年代においても同程度に人気があること
- ・法律や金融は、2000 年代に高視聴率を記録した作品はなかったものの、2010 年代では高視聴率を記録するようになったこと
- ・ミステリ・推理・サスペンスはどの年代においても人気は伺えるが、今回調査対象である作品の年代別母体数を考慮すると 2020 年代において強い人気があることがわかる。

⑥ ジャンルと最高視聴率の関係



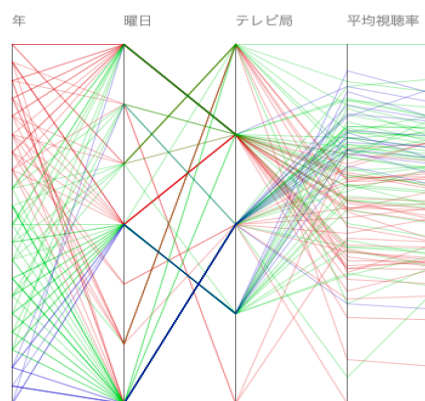
作品のジャンルによって、視聴率の取りやすさにも相関があるかと予測し項目に加えていたが、結果からわかるように、ジャンルよりも年代の方がどちらかと言うと視聴率の高さに影響していることがわかった。

⑦ 最低視聴率話と最高視聴率話について



最低視聴率は、比較的どの回でも同程度に記録しやすい一方で、最高視聴率は第1話または最終回が近い第9話10話11話に集中する傾向にあることが読み取れる。2作品だけ最高視聴率話が突出しているのは、2クール連続放送であったためなので、これらも同様に最終回付近で最高視聴率を記録したと言える。この結果は、初回放送を見て見続けるか決める人が多いことや、作品の結末はリアルタイムで見たいと考える人が多いことが理由だと推測できる。

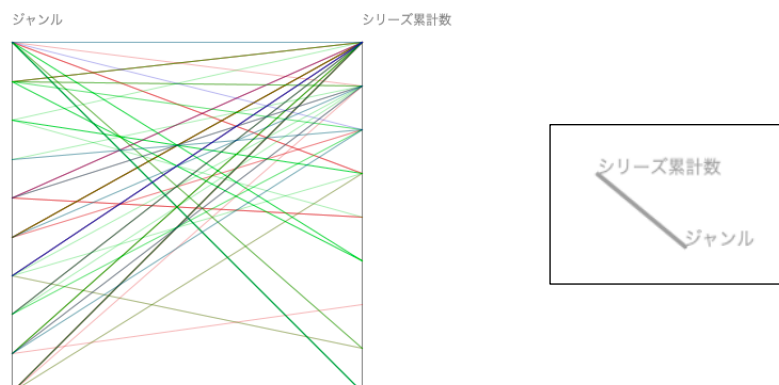
⑧ 年代と曜日とテレビ局の関係



テレビ局
0：日本テレビ
1：フジテレビ
2：TBS テレビ
3：テレビ朝日
4：関西テレビ

月曜日に高視聴率を記録したのはフジテレビのみであることと、線の色より、2000年代、2010年代はいわゆる月9の人気の高かったことが考えられる。また、線の色と太さより、2000年代は木曜日のフジテレビが、2010年代は木曜日のテレビ朝日が、さらに、2010年代以降日曜日のTBSテレビが高視聴率を多く記録しているとわかる。この結果について⑤年代とジャンルも合わせて考察すると、2000年代は月9における恋愛・ラブコメの人気の高かったが、徐々にTBSの日曜劇場の枠の人気の高まっていると言える。

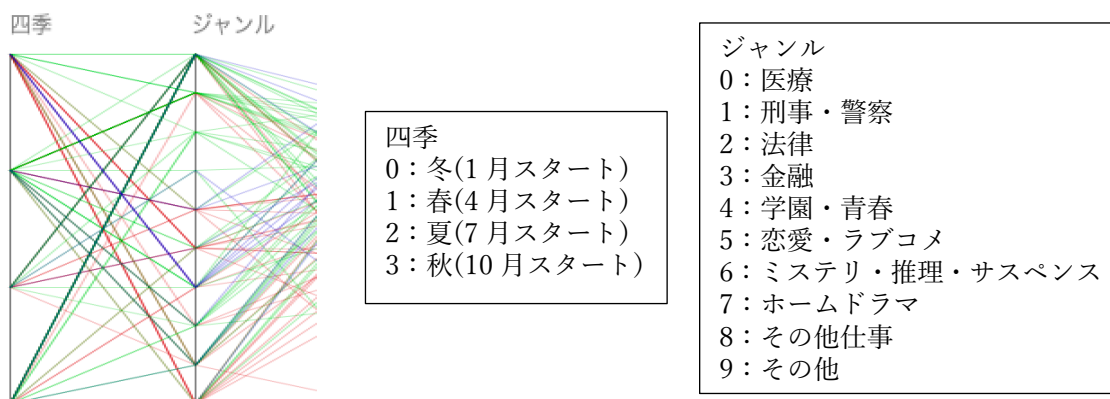
⑨ ジャンルとシリーズ累計数



線の太さも考慮すると、他のジャンルに比べて医療は比較的シリーズ化されやすい傾向にあることがわかる。また、どれか特定のジャンルばかりシリーズ化されるといったこともなく、どのジャンルもそこそこにシリーズ化されていることが読み取れる。この2つに関係があることは右側の散布図からも確認することができる。

5.2 Culling スライダーを動かして得られた知見

① 四季とジャンルについて



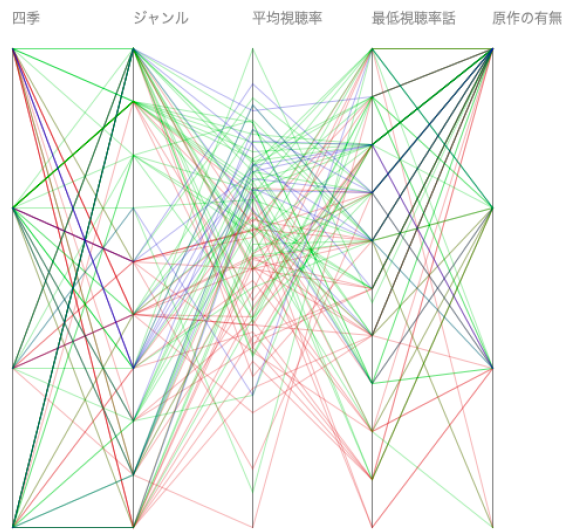
上の PCP の線の太さより、

- ・冬ドラマは、比較的どのジャンルも高視聴率を記録している
- ・春ドラマは刑事・警察と恋愛・ラブコメの線が太く、濃いように見受けられる
- ・夏ドラマは医療、ミステリ・推理・サスペンスが、秋ドラマは医療がその他のジャンルよりも人気である

ことが読み取れる。

また、四季について、ジャンル以外にも年代や視聴率の高さに関係していると予想していたが、ジャンル以外に関係が見られたものはなかった。

② 原作の有無について



原作があった方が事前の話題性も高く、高視聴率が取れるのではないかと予測していたが、原作なしの作品も多く高視聴率作品に含まれていることからその予測は正しくないことがわかった。

6 感想

分析テーマを決めたのちに1からデータを作成したが、テーマ決めに加え、有効な分析項目を設定するのに苦労した。(現に、最初に作成したデータは項目の設定を失敗して破棄せざるを得なかった。)しかし2回目に作成した、今回分析に使用したデータからは、想像よりも多くの知見を得ることができた。年代における視聴率の低下のように一般的に謳われている現象のみならず、年代の移り変わりに伴う人気ジャンルやテレビ局の変化など、思いもよらなかった傾向を見ることができ、大変興味深かった。今後ドラマを見る上で、これまでとは違った視点から楽しめそうだと思う。